

**第2期富士市まち・ひと・しごと・創生総合戦略
令和4年度 進行管理報告書**

令和5年9月

富士市

目 次

1	進行管理手法について	1
2	総合戦略の進行状況	2
	★ 各戦略及び各施策における重要業績評価指標（K P I）の状況	2
3	地方創生関連事業の実績	13
	★ 地方創生関係交付金の活用実績	13
	★ 企業版ふるさと納税の実績	15

1

進行管理手法について

<PDCAサイクルによる継続的な改善>

第2期富士市まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策については、「Plan（計画の策定・変更）→Do（施策の展開）→Check（成果の検証）→Action（見直し）」という流れを繰り返しながら、客観的データに基づく現状分析や将来予測などにより、継続的な見直し・改善に取り組むとしています。

そこで、以下の体制・スケジュールにて、各戦略の指標や施策のKPIの目標値の進捗状況や施策の取組状況を踏まえた定性的な評価を検証するとともに、この内容を公表し、課題解決に向けた取組を実行します。



<進行管理体制とスケジュール>

進行管理は、市長を本部長とする「富士市まち・ひと・しごと創生本部」により行う内部評価と、産学労及及び市民にて構成する「富士市まち・ひと・しごと創生推進会議」等により外部評価を行います。また、市議会に提示するとともに、富士市ウェブサイトにて公表します。

内部評価

- **富士市まち・ひと・しごと創生本部**
（構成）市長（本部長）、副市長、教育長、部長等
（時期）年3回程度開催

外部評価

- **富士市まち・ひと・しごと創生推進会議**
（構成）商工会議所や商工会、農協等の産業界、学識経験者、金融機関、労働関係団体等により組織
（時期）6月頃開催

-
- **市議会**
（時期）9月頃報告
 - **富士市ウェブサイト**
（時期）10月頃掲載

<その他>

- ・ 市民・事業者・関係団体・近隣市町等との協働による事業の推進
- ・ 地方創生関係交付金等、国からの支援の活用

2 総合戦略の進行状況

★各戦略及び各施策における重要業績評価指標（KPI）の状況

戦略1 災害等への対策を強化し、安全・安心なまちづくり

指標1：(市民満足度)

地震や風水害などの災害に対する危機管理体制が充実していると思う市民の割合

基準 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
58.3%	57.6%					70.0%

施策1 地震対策の強化

指標名		自主防災組織の訓練の実施状況（実施率）				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
79.4%	78.7%					100%
算出方法		自主防災組織の総合防災訓練、地域防災訓練、土砂対策訓練、津波対策訓練における参加組織数の割合				

※KPIの基準について、コロナ影響前のR1年度は83.0%(参考値)

指標名		住宅の耐震化率				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
92.7%	93.9%					95.0%
算出方法		住宅・土地統計調査結果の戸数を基に、国の算定方法に準じて推計				

施策2 豪雨等対策の強化

指標名		主要河川（富士早川、下堀）の断面不足の解消率				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
62.2% (当初)62%	64.8%					67.7% (当初)68%
算出方法		整備延長÷計画延長				

※KPIは、小数点以下を表記したため、策定当初から変更

施策3 危機管理体制の強化

指標名		災害時協力機関との連携実施状況（実施率）				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
48.7%	80.8%					100%
算出方法		災害時応援協定に記載されている内容について、各担当部署と協定締結団体などが、災害対応等の意見交換ができている割合				

施策4 地域消防体制の充実と救急・救助活動の強化

指標名		防火水槽長寿命化率				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
0%	0%					25.3% (当初)44.1%
算出方法		長寿命化対策の施工数÷老朽化防火水槽数				

※KPIの目標は、老朽化防火水槽の経年による対象数の増加を踏まえ、策定当初から変更

指標名		救命率（一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1ヵ月後生存率）				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
9.8%	9.5%					12.0%
算出方法		一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者の1ヵ月後生存者数÷一般市民が目撃した心原性心肺機能停止傷病者数				

施策5 防犯体制の充実

指標名		刑法犯認知件数				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
1,114件	923件					1,000件
算出方法		富士警察署管内における年次（1月～12月）の刑法犯認知件数				

施策6 地域医療体制の充実と感染症予防の推進

指標名		市立中央病院の患者紹介率				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
69.6%	73.7%					75.0% (当初)72.5%
算出方法		紹介患者数÷初診患者数				

※KPIの目標は、富士市立中央病院経営強化プランと整合を図るため、策定当初から変更

指標名		市補助金などによる市内民間医療機関への看護職員の就職誘導者数（R4からの累計）				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
3件	4件					17件 (R4～8の累計)
算出方法		民間病院等看護職員修学資金貸与事業費補助金の交付対象者数、看護職員修学資金貸与事業の貸付金免除決定者数の合計				

戦略2 活力ある産業を集積し、やりがいを感じるしごとづくり

指標1：(市民満足度)

仕事と生活の調和が取れていると感じる市民の割合

基準 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
68.8%	69.7%					75.0%

指標2：(社会動態の改善)

生産年齢人口の減少数の緩和

基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
150,330人	147,954人					144,800人

施策7 新産業・成長産業への参入支援

指標名		粗付加価値率				
基準 (R1年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
35.6%	—					37.4%
算出方法		粗付加価値額÷製造品出荷額等（※令和4年度の数値は集計中）				

施策8 既存産業の活性化支援

指標名		製造品出荷額等				
基準 (R1年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
1兆4,250億円	—					1兆5,839億円
算出方法		経済構造実態調査または経済センサス活動調査（※令和4年度の数値は集計中）				

施策9 企業立地の促進

指標名		誘致企業件数（R4から累計）				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
0件	3件					10件 (R4～8の累計)
算出方法		市外から誘致した企業の件数				

施策10 経営基盤の強化及び起業・創業支援

指標名		地域産業支援センターの支援により成果の上がった事業所数				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
—	39件					100件
算出方法		起業・創業、販路開拓、新製品開発等成果のあった事業所数				

施策 11 農林水産物の付加価値向上と担い手の確保・育成

指標名		富士のほうじ茶を利用した新商品数（累計）				
基準 (R2 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
2 件	82 件					30 件
算出方法		富士のほうじ茶を利用した新商品数の累計				

指標名		FUJI HINOKI MADE（フジヒノキメイド）の出荷量				
基準 (R2 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
1,719 m ³	1,920 m ³					3,000 m ³
算出方法		富士地区林業振興対策協議会が認定した製材工場で生産され、フジヒノキメイド有限責任事業組合で販売された出荷量				

施策 12 雇用及び就労への支援

指標名		インターンシップ実施企業数				
基準 (R2 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
87 社	70 社					120 社
算出方法		賃金実態調査				

指標名		ユニバーサル就労支援センターにおける新規就労者数				
基準 (R2 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
115 人	156 人					150 人
算出方法		ユニバーサル就労支援センター利用者の内、雇用契約を結んだ人数				

施策 13 柔軟で多様な働き方の推進

指標名		テレワーク導入企業の件数（累計）				
基準 (R2 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
131 社	192 社					270 社
算出方法		市内企業へのアンケート調査				

戦略3 結婚・出産・子育て等の希望を実現できる社会づくり

指標1：(市民満足度)

安心して子どもを産み育てる環境が充実していると思う市民の割合

基準 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
65.8%	62.0%					80.0%

指標2：(自然動態の改善)

出生数の増加

基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
1,566人	1,466人					1,600人

施策14 結婚・出産・子育て支援の充実

指標名		希望出生率（結婚して子供を産みたいという人の希望が叶えられた場合の出生率）				
基準 (R1年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
1.77	1.55					2.0
算出方法		少子化対策プランに関するアンケート調査				

施策15 子育てしやすい環境の整備

指標名		待機児童数				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
0人	0人					0人
算出方法		各年度4月1日現在の待機児童数				

施策16 子どもや若者の健やかな成長への支援

指標名		青少年体験交流事業の満足度				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
92.4%	93.4%					100%
算出方法		参加者へのアンケート調査				

施策 17 教育環境の充実

指標名		話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う児童の割合（小学生）				
基準 (R1 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
74.7%	77.5%					90.0%
算出方法		全国学力・学習状況調査（児童質問）				

指標名		話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができると思う生徒の割合（中学生）				
基準 (R1 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
68.9%	78.1%					80.0%
算出方法		全国学力・学習状況調査（生徒質問）				

戦略4 地域と拠点がつながり、快適に暮らせる環境づくり

指標1：(市民満足度)

まちなかが整備され、便利で快適な都市づくりができていると思う市民の割合

基準 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
32.7%	35.9%					60.0%

指標2：(社会動態の改善)

東京圏からの若い世代(15~39歳)の社会動態の改善

基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
406人の 社会減	602人の 社会減					社会減 0人

施策18 地域の暮らしを支える体制の強化

指標名		まちづくり活動参加者数				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
263,052人	431,154人					800,000人
算出方法		地区まちづくりセンター利用者数及び地区行事への参加者数				

※KPIの基準について、コロナ影響前のR1年度は778,192人(参考値)

指標名		地域において「男女共同参画」という言葉を知っている人の割合				
基準 (R1年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
75.3%	72.1%					85.0%
算出方法		男女共同参画地区推進員による男女共同参画アンケート				

指標名		国際交流ラウンジ(FILS)を利用した人数				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
3,512人	5,779人					8,000人
算出方法		国際交流ラウンジ(FILS)来場者数				

※KPIの基準について、コロナ影響前のR1年度は6,533人(参考値)

施策 19 健康づくりの推進

指標名		肥満者（BMI25 以上またはかつ腹囲男性 85 cm以上・女性 90 cm以上）の割合				
基準 (R1 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
39.0%	—					37.0%
算出方法		静岡県特定健診・特定保健指導に係る健診等データ報告書（※令和 4 年度の数値は集計中）				

指標名		40 歳～69 歳の大腸がん検診受診率				
基準 (R2 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
5.1%	6.0%					11.0%
算出方法		40 歳～69 歳市民のうち、市が実施する大腸がん検診受診者の割合				

施策 20 土地利用の適正化

指標名		居住誘導区域内人口率				
基準 (R2 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
44.0%	44.0%					46.3%
算出方法		市の総人口に対する居住誘導区域内人口の割合				

指標名		不適正な土砂の埋立てのうち、行政指導により埋立てを中止した割合				
基準 (R2 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
87.0%	100%					100%
算出方法		行政指導により不適正な土砂の埋立てを中止した件数÷不適正な土砂埋立て件数				

施策 21 魅力あふれるまちなかの形成

指標名		商店街の表通り 1 階の空き店舗の割合				
基準 (R2 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
16.4%	19.0%					14.8%
算出方法		富士本町・吉原商店街表通り 1 階の空き店舗の割合				

施策 22 公共交通の充実

指標名		公共交通の人口カバー率				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
80.9%	82.0%					83.4%
算出方法		公共交通を利用しやすい環境に居住する市民の割合				

施策 23 快適な道路ネットワークの構築

指標名		都市計画道路整備率				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
53.1%	53.5%					54.0%
算出方法		都市計画道路の整備総延長÷計画総延長				

施策 24 空き家対策と快適な住環境の確保

指標名		空き家の相談の解決率				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
51.4%	47.5%					56.0%
算出方法		空き家に関する相談の解決件数÷相談件数（累計）				

指標名		市内ZEH（ネット・ゼロ・エネルギーハウス）件数（累計）				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
430件	699件					772件 (当初)811件
算出方法		市内でZEHを導入した件数				

※KPIの目標は、富士市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)と整合を図るため、策定当初から変更

戦略5 人を呼び込み、にぎわいと交流を生む魅力づくり

指標1：(市民満足度)

市内に知人を案内し自慢したい場所があると思う市民の割合

基準 (R3年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
46.5%	44.1%					60.0%

指標2：(社会動態の改善)

滞在人口の拡大

基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
198,617人	197,554人					204,600人

施策25 富士山を活かした誘客の推進と観光資源の活用

指標名		観光交流客数				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
5,098千人	6,148千人					7,500千人
算出方法		4大まつり(吉原祇園祭、富士まつり、甲子祭、毘沙門天大祭)の来場者数及び富士川楽座、岩本山公園等の施設の年間利用者数と宿泊客数の合計				

※KPIの基準について、コロナ影響前のR1年度は6,585千人(参考値)

施策26 まちのブランド強化及び愛着と誇りの醸成

指標名		ブランドメッセージ認知度				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
51.5%	60.2%					80.0%
算出方法		世論調査				

施策27 移住定住の促進

指標名		移住相談対応から移住に繋がった人数(R4からの累計)				
基準 (R2年度)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	目標 (R8年度)
35人	174人					870人 (R4~8の累計) (当初)215人
算出方法		移住相談対応から移住に繋がった人の延べ人数				

※KPIの目標は、R4年度の増加実績を踏まえ、策定当初から変更

施策 28 交流の促進と機会の創出

指標名		サイクルステーション利用者数				
基準 (R2 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
0 人	2,048 人					2,500 人
算出方法		サイクルステーションにおいて、レンタサイクルやバーチャルライドを利用するなど施設を利用した人数				

指標名		県外からの来訪者数				
基準 (R2 年度)	R4 年度	R5 年度	R6 年度	R7 年度	R8 年度	目標 (R8 年度)
4,907 千人	—					9,700 千人
算出方法		休日午前 10 時時点における県外からの訪問者数の平均値（地域経済分析システム） （※令和 4 年度の数値は集計中）				

※KPI の基準について、コロナ影響前の R1 年度は 9,049 千人(参考値)

3 地方創生関連事業の実績

★地方創生関係交付金の活用実績

令和4年度は、7事業が国から認定され、合計 8,665 万 8,801 円の交付を受けました。

① デジタル田園都市国家構想交付金（デジタル実装タイプ）

【TYPE 1】

◆災害対策をドローンとクラウドでデジタル化し、地域の安全安心な暮らしを守り続ける事業

交付金額：10,991,285 円

事業期間：1 年（R4）

- 事業概要：
- ・ 赤外線カメラ搭載ドローンの整備
 - ・ ドローン対応データ基盤の構築
 - ・ デジタル活用した防災訓練の計画・実施・検証
 - ・ 罹災証明書発行システムとの連携

【地方創生テレワーク型】

◆富士市の恵みを活かした新幹線駅直結シェアオフィス及び利用促進事業

交付金額：25,741,445 円

事業期間：1 年（R4）

- 事業概要：
- ・ 新富士駅シェアオフィスの整備
 - ・ 首都圏企業・ワーカー誘致事業
 - ・ マーケティング・PR 事業

② デジタル田園都市国家構想交付金（地方創生推進タイプ）

◆若者のまちづくり自分ゴト事業～富士青春市民オンラインミーティング～

交付金額：747,450 円

事業期間：3 年（R2～R4）

- 事業概要：
- ・ 富士青春市民オンラインミーティング
 - ・ 富士青春市民首都圏オンラインミーティング
 - ・ 富士青春市民交流イベントの開催

◆富士のほうじ茶ブランド化推進事業

交付金額：5,998,000 円

事業期間：5 年（R2～R6）

- 事業概要：
- ・ ほうじ茶の販路開拓支援
 - ・ 農家への勉強会の実施、企業マッチング支援
 - ・ イベント開催支援

◆富士市版地域産業デジタル変革事業

交付金額：33,892,223 円

事業期間：3 年（R3～R5）

事業概要：・地域産業支援センター「Be パレットふじ」運営及びよろず型支援
・IT導入支援事業者等立地促進事業補助金交付
・企業マッチングのための事業者管理システム等の保守運営

◆人が集まり、地域が繋がる自転車活用事業

交付金額：8,612,000 円

事業期間：5 年（R3～R7）

事業概要：・サイクルステーション指定管理
・バーチャルライドコース作成
・富士山サイクルロードレース開催負担金

◆歴史・文化資源を活用した地域活性化事業（県との協働申請）

交付金額：676,398 円

事業期間：3 年（R3～R5）

事業概要：県東部における大河ドラマに関連した歴史・文化活用事業
・市民講座「海道一の弓取り 今川義元」開催
・第 59 回企画展「「河東」をめぐる戦国時代」開催

★企業版ふるさと納税の実績

令和4年度は、4つの事業に対して、7社から御寄附いただきました。

事業名	社名	寄附額（千円）	備考
富士市ユニバーサル就労 推進事業	(株)ウォーターエージェンシー	1,000	
富士市版地域産業 デジタル変革事業	コニカミノルタジャパン(株)	非公表	
富士市茶業推進事業 (ほうじ茶ブランド化)	富士高砂酒造(株)	非公表	
	クミアイ化学工業(株)	1,000	
富士市自転車活用事業	ニュータウンビルサービス(株)	500	
	(株)フクリコ	200	
	アイワマネージメント(株)	4,000	

(順不同)